

オンデマンド授業によるフィードバックの実践とその評価

日本大学 正 会 員 ○西山 孝樹
日本大学 フェロー会員 天野 光一

1. はじめに

2020（令和2）年、新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、わが国においても、日常生活が一変した。筆者らが所属する大学においても、急遽オンライン授業が導入された。各科目担当者は、試行錯誤のなかで動画を作成し、公開している状況にあった。

2. 2020（令和2）年度の授業形態

本学部では、前期の実験実習を含むすべての授業がオンラインで実施された。後期に入ると、一部の実験実習科目で対面授業が制限付きで開始されたが、それ以外の授業は引き続きオンライン授業となった。

3. インターネットを利用した授業の実施

富永¹⁾らは、eラーニングにおいてフィードバック（振り返り）がないよりも、ある方が効果的であることを指摘していた。そこで本稿では、毎授業で積極的にフィードバックを実施した『リゾート整備計画』（主として学部2年生を対象として開講）における取り組みを紹介するとともに、受講者へのアンケート調査を実施し、満足度についても明らかにした。

4. 『リゾート整備計画』の授業実施

本稿で対象とした『リゾート整備計画』の授業は、Google ドライブにアップロードした動画の配信とLMS（学習支援システム）を組み合わせ実施した。なお、全15回の授業は同時双方型で行うのではなく、オンデマンド型のメディア授業を導入して実施した。

5. 振り返り（フィードバック）で工夫した点

表-1の上段には、『リゾート整備計画』の授業計画、下段にはフィードバック（振り返り）の内容を示した。また、毎授業後には受講者自身の感想をLMSへ提出するよう求めた。それら、受講者から提出された感想を軸として、次週の授業冒頭には必ずフィードバック（振り返り）を行った。併せて、受講者へ授業に関連する問いかけやアンケート調査も実施した。

それら、問いかけやアンケート調査は、適切に授業動画を視聴しているかを確認するため、動画内の決まった時間に提示するのではなく、各回の動画内に分

散させて受講者へ示す工夫を行った。

例えば、表-1 No.6で行ったフィードバック（振り返り）では、ある受講者が九州地方で開催された音楽フェスティバルにおける自身の体験を紹介した。そうしたところ、別の受講者の父親が映像監督として先のフェスティバルに関わっていた。開催地の選定や周辺住民への説明など、様々な苦勞をした逸話を表-1 No.7の回で示すこともでき、振り返りを行ったからこそその授業を展開することもできたといえる。

6. 受講者へのアンケート調査

オンライン授業におけるフィードバック（振り返り

表-1 『リゾート整備計画』の授業計画

No	月日	授業計画（下段はフィードバック・アンケート内容）
1	9/18	リゾートとは ・「リゾート」に関するアンケート
2	9/25	リゾートと観光の相違 ・アンケートの回答結果を設問ごとに集計、開示 ・観光等には行かず、ビーチやホテルで何もしない「ボーッ」と過ごしたことはありますか？
3	10/2	リゾートの発生と歴史 ・日本で長期滞在ができる魅力的なリゾート地（施設ではなく）はありますか？ 「ある」としたら、具体的な場所はどこですか？ ・「ワーケーション」は根付くと思いますか？
4	10/9	世界のリゾートとその特徴1 ・休暇が短い日本人を対象としたリゾート地、そこでの理想的な過ごし方って何だろう？
5	10/16	世界のリゾートとその特徴2 ・わが国におけるリゾート地のあり方を紹介
6	10/23	世界のリゾートとその特徴3 ・音楽フェスティバルへ行ったことありますか？
7	11/6	我が国のリゾートとその特徴1 ・フェスティバル開催中、敷地の外へ出る仕掛けとして、どのような手法があるでしょうか？
8	11/13	我が国のリゾートとその特徴2 ・空港における搭乗客以外を取り込む施策等を紹介
9	11/20	我が国のリゾートとその特徴3 ・東京ディズニーリゾートに行ったことありますか？ 海外のディズニーリゾートへ行ったことありますか？
10	11/27	我が国の温泉リゾートとその特徴1 ・これまで学修した内容を踏まえて書かれたディズニーリゾートにおける受講者個々の体験を紹介
11	12/4	我が国の温泉リゾートとその特徴2 ・皆さんは銭湯へ行ったことありますか？
12	12/11	リゾートにおけるアクティビティと空間構成 ※最終レポートの出題 ・銭湯における受講者の体験、経験を紹介
13	12/18	観光・リゾートに関する制度 ・IR（カジノを含む統合型リゾート）に賛成か反対か
14	1/15	リゾートの経営 ・高校までの間、近所の人と挨拶はしていましたか？
15	1/22	最終レポートおよびその解説 ・フィードバックに関するアンケート調査を実施

キーワード オンライン授業、オンデマンド型授業、フィードバック、アンケート調査

連絡先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14 日本大学理工学部まちづくり工学科 TEL 03-3259-0482

り)の満足度を図るため、アンケート調査を実施した。そのアンケート調査は、Google Formsを用いて行い、授業の最終回にあたる表-1 No.15で実施した。その結果、全62名の受講者のうち、51名からの回答が得られた(回答率:82.3%)。

(1) オンデマンド型のメディア授業における「フィードバック(振り返り)」の有効性

オンデマンド型授業におけるフィードバック(振り返り)は、自身の学修に有効であったかを受講者へ問うた。その結果、「有効であった」と回答したのは受講者全体の96.1%で、「有効ではなかった」と回答した受講者は存在しなかった(図-1)。このことから、オンデマンド型授業におけるフィードバック(振り返り)の実施は、非常に重要であったと考えられる。

次に、受講者が「有効であった」と回答した具体的な理由(複数回答あり)をみていく。図-2をみると、「他の受講者の意見を知ることができた」を選択した受講者が全体の89.8%にのぼった。他の受講者が質問したことを聞いたり、ある物事に対して、様々な視点があったりする事をフィードバックで学んでいた。フィードバック(振り返り)が、受講者の理解を深める手段となっていたと考えられる。

さらに、「教員から一方通行でないと感じられた」と回答したのは全体の75.5%であった。自由記述とした受講者の感想には、「オンライン授業は孤独を感じるが、皆で授業を受けているように感じた」や「自身の意見を教員に見てもらえている安心感があつた」との意見が挙げられていた。以上のことから、受講者の様々な感想や意見を紹介することは非常に有効で、学習意欲の向上を図ることも可能であった。

(2) オンデマンド型のメディア授業における「フィードバック(振り返り)」の満足度

「フィードバック(振り返り)」を積極的に導入した本講義について、5段階評価で全体の満足度を問い、その結果を図-3に示した。「非常に不満」「不満」を選択した受講者は皆無で、「非常に満足」および「満足」と回答したのは全体の98.0%を占めた。

その背景には、毎授業後、必ず次の授業までに学生から提出されたリアクションペーパーに目を通した。そのなかで、十二分に理解が得られなかった部分は、次週の授業内で展開するフィードバック内で補足説明等を行った。前節で示した受講者の意見を紹介すると共に、復習を兼ねたフィードバックによっ

て受講者からの高評価が得られたと推察される。

(3) オンデマンド型授業実施による利点

アンケートで得られた受講者個別の意見に目を向けると、「対面授業では手を挙げて発言する勇気がなくても、オンライン授業であることで自身の意見を発信しやすくなった」という意見があり、対面授業よりも、積極的に受講者が参加していたといえる。

さらに、「毎回フィードバックがあり、リアクションペーパーを提出するモチベーションになった」や「自分の意見を取り上げてもらえることが、自信になった」など、受講者が授業内容を理解すると共に、自身の言葉で考えを述べる力も身についたとみられる。オンライン授業の短所ばかりが取り沙汰されているが、その部分を補完しつつ、対面授業と比較しても高い学修効果が得られる可能性も示唆された。

7. まとめ

本稿では、オンライン授業におけるフィードバック(振り返り)の有効性について述べてきた。オンライン授業のフィードバック(振り返り)は、第1回目の授業を除き、欠かすことなく毎授業で実施した。教員側の負担は大きいものの、通常実施される対面授業よりも、教員と学生間が密にコミュニケーションを図ることができ、受講者から得られる評価も高くなることがわかった。

参考文献

- 1) 富永敦子・向後千春:eラーニングに関する実践的研究の進展と課題, Vol.53, 教育心理学年報, pp.156-165, 日本教育心理学会, 2014.

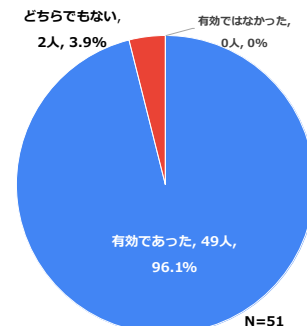


図-1 オンデマンド型授業におけるフィードバックの有効性

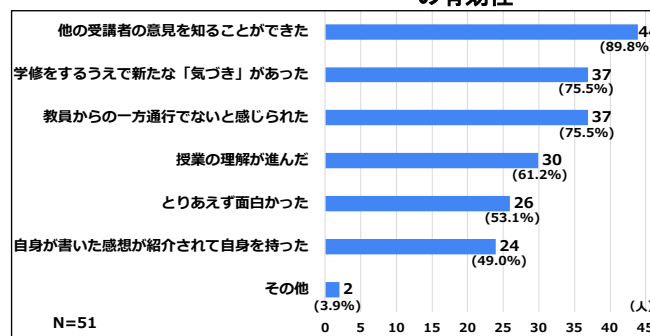


図-2 フィードバックが「有効」と回答した理由

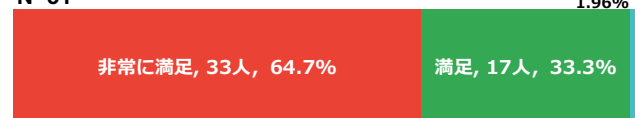


図-3 フィードバックを実施した授業全体の満足度